

(4) 認定特定非営利活動法人フードバンク山梨

■ 活動の概要および、フードバンクの活用促進に向けた活動

活動の概要	所在地	山梨県南アルプス市百々3697-2	
	団体の設立年 ／フードバンク活動の開始年	2008年10月／2008年10月	
	取扱品	加工食品(常温) 野菜・果物 菓子 清涼飲料 防災備蓄食品	
	食品取扱量(2015年)	129トン	
活用促進に向けた活動	(1)フードバンクでの食品の品質・衛生管理	①提供食品の受け入れ	受取先の必要性に応じて受け入れる食品 JAのスーパーだった場所をフードバンクの倉庫として活用。企業からは製造時の外箱のまま配送してもらう。
		②保管	賞味期限に応じて置くよう、倉庫内の保管場所を工夫。冷蔵庫の温度管理および管理記録を作成。カゴ台車を活用し、保管作業の軽減を図っている。
		③団体への譲渡	団体向けは本部まで引き取りに来てもらい、配送の手間を軽減。 個人向けでは、個別の事情に応じた箱詰めを行っている。
	(2)リスクの管理		衛生管理基準を徹底(手洗い＋アルコール洗浄の徹底、食品を床に置かない等)。衛生管理マニュアルを作成。 食品在庫と配達記録をエクセルで一元管理し、トレーサビリティを確保。
	(3)継続的な食品提供のためのコミュニケーション		食品提供事業者に向け、定期的な活動報告を行っている。
	(4)他のフードバンク団体や行政との連携／人材育成		自治体や企業からの助成プログラムを積極的に活用。 市やメディア募集欄を通じてボランティアを募集。倉庫で仕分けを行うボランティアのより効率的な作業・負荷軽減に向けた取り組みは今後の課題。

(活動状況)



フードバンク山梨本部

(活動状況)



倉庫(常温)
(ハンドフォークやフォークリフト、カゴ車を活用)



消費期限の近い食品のスペース
(食品管理上の工夫)

(活動状況)

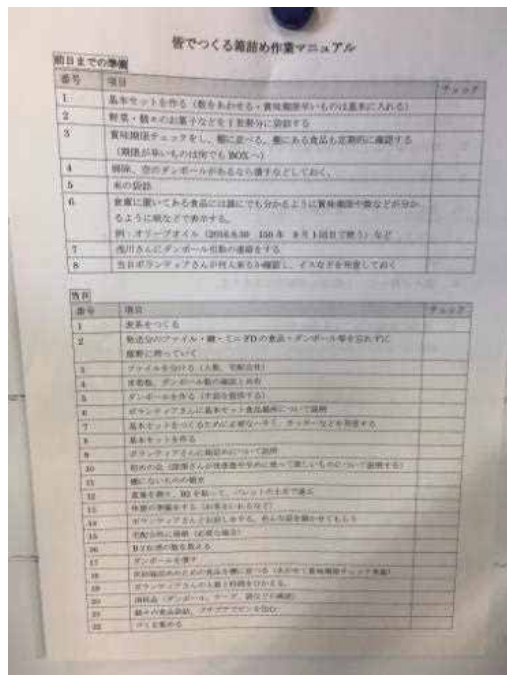


倉庫内での梱包作業
(困窮者向け)
(作業台を使い、流れ作業を行っている)



倉庫内での梱包作業
(梱包物の最終確認とテープ止め作業)

(活動状況)



倉庫内での梱包作業
(作業マニュアル)



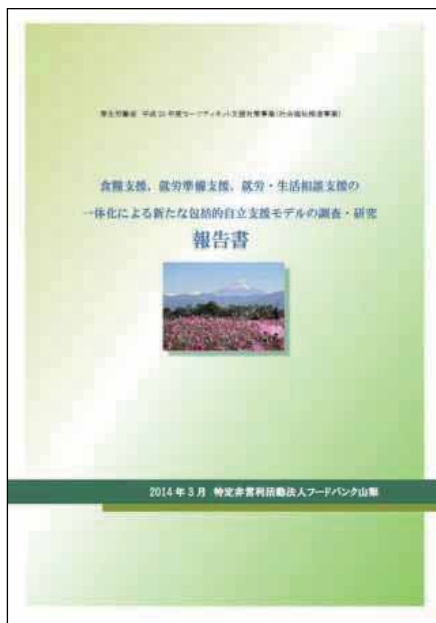
梱包の同封書類

(活動状況)



倉庫内の掲示
(衛生管理の徹底)

(活動状況)



支援活動内容ごとに活動報告書を作成
「企業様とのコラボレーション事例」では、食品提供事業者からの提供事例を紹介

無断転載を禁ず All rights reserved.

© 2017 公益財団法人 流通経済研究所

79

(活動状況)



活動報告書
(食品寄付・支援活動を紹介)
(巻末には支援企業の一覧を掲示)

フードドライブ活動の告知パンフレット

無断転載を禁ず All rights reserved.

© 2017 公益財団法人 流通経済研究所

116

80

(5) 認定特定非営利活動法人セカンドハーベスト名古屋

■ 活動の概要および、フードバンクの活用促進に向けた活動

活動の概要	所在地	愛知県名古屋市北区柳原3-4-2 小菅ビル1F	
	団体の設立年 ／フードバンク活動の開始年	2009年1月／2008年8月	
	取扱品	加工食品(常温) 加工食品(冷蔵・チルド) 野菜・果物 菓子 清涼飲料	
	食品取扱量(2015年)	502トン	
活用促進に向けた活動	(1)フードバンクでの食品の品質・衛生管理	①提供食品の受け入れ	一部(パンなどの日配品)を除き、提供企業の物流網により本部倉庫まで搬入してもらう方法を採用。できるだけ提供企業が用いる包装(通い箱、ボール箱など)を使うことで、積み替え等による管理リスクの低減を図っている。
		②保管	本部に倉庫(常温、冷凍)に集荷する方法を採用。受取先団体の要望や、生活困窮者支援のリクエストにきめ細かく対応できるようにしている。冷凍品は提供企業の管理基準を遵守。譲渡時は専用の保冷箱を利用
		③団体への譲渡	本部まで団体に取りに来てもらう方法。あらかじめ要望を聞いておき、数量や譲渡食品の内容に反映。困窮者支援に即時対応できるよう、倉庫スペースや発送用のケース等を準備
	(2)リスクの管理	食品の取り扱い状況をデータベースで管理。提供企業には合意書を締結するとともに、フードバンク活動のパートナーとして、本部への食品搬入などの協力をお願いしている。	
	(3)継続的な食品提供のためのコミュニケーション	ホームページやニュースレター(会員募集)、自治体によるフードドライブ活動への協力(活動内容の告知)、本部作業の体験会などを行っている	
	(4)他のフードバンク団体や行政との連携／人材育成	「食のセーフティネット」として、食品の集荷・分配機能に注力できるよう、組織運営を行っている。	

(活動状況)



セカンドハーベスト名古屋本部



本部内の倉庫
(提供企業のケースや通い箱を活用)

(活動状況)



受取先団体別の仕分け箱
(リクエストや、食品受け入れの許容量などを記載)



倉庫内での仕分け作業

(活動状況)



冷凍食品の保冷库



冷凍食品搬出用の保冷箱
(フードバンクで専用品を用意して貸出)

(活動状況)



仕分け後の食品
(加工食品・野菜)



受取先団体による引き取り

無断転載を禁ず All rights reserved.

© 2017 公益財団法人 流通経済研究所

85

(活動状況)

セカンドハーベスト名古屋
団体紹介パンフレット
(寄付金の振込用紙を添付)

無断転載を禁ず All rights reserved.

© 2017 公益財団法人 流通経済研究所

119

86

(活動状況)



食品提供事業者への寄付呼びかけ (寄付の手順を説明)



個人への寄付呼びかけ
(認定NPOとしての税制控除のお知らせ)

無断転載を禁ず All rights reserved.

© 2017 公益財団法人 流通経済研究所

87

(活動状況)



ニュースレター
(食品やお金の寄付者など支援者を対象に活動内容を告知)



無断転載を禁ず All rights reserved.

© 2017 公益財団法人 流通経済研究所
120

88

(活動状況)



フードバンク関西本部

(活動状況)



本部内の倉庫(伝票に基づき、受取先
団体別に仕分けされた食品)



本部内の倉庫(冷蔵・冷凍)

(活動状況)

認定NPO法人フードバンク関西への食品のご寄付のご依頼、ありがとうございます。
下記、寄付申込書に①寄付者情報 ②寄付予定の商品情報を記載いただき、メール添付にてご送信下さい。

認定NPO法人フードバンク関西
住所 〒650-0051 兵庫県川门市1-15
電話/ファックス 0797-34-8330
メールアドレス foodbank05@yahoo.co.jp

寄付申込書

記入日 201 年 月 日

①寄付者情報	食社名	ご担当部署	ご担当者名
	所在地		電話番号
	受け渡し方法	(原則として寄贈企業による配送)	ファックス
備考	(フードバンク関西に配送の場合は、事務所前の道路が狭路に付、2トン以下の車両での配送をお願い致します。)		

②商品情報

商品名	ケース数	入り数/ケース	規格(kg)	総重量(kg)	パレット数	賞味期限	寄贈理由	温度状態	ケース外寸	ケース数/パレット	※特記事項	
											群群重量/ケース	群群総重量(円)

注① 商品の数が多い時は行を挿入して下さい。
注② ※特記事項 認定NPO法人フードバンク関西への物品寄贈は、案件により寄付として税金扱いが可能です。この取り扱いをご希望でしたら、ご相談下さい。

謝辞欄

食品の寄付申込書 (商品名や企画等を記載)

(活動状況)

フードバンク関西 デリバリー記録 Delivery Report

Date 201 年 月 日 ()

担当者	走行距離	高速利用料金
	km	カード(法人・個人)
内容	食品引取 デリバリー	駐車料
		円
出張(行先)	交通費	円
〇で囲む		円
コスト引は取外(尼崎 神戸)	他の企業からの引き取り	
パン	kg	ハインツ 伊藤忠食品 キューピー 菓業
野菜果物	kg	マックスバリュ西日本 個人(米 その他)
合計	kg	ジャパニフードサービス バルコブ トーホー
	kg	フードドライブ その他()
	箱	kg
フードバンク関西による品質確認 確認済		
受け取り団体へのデリバリー		
受取材料は必ず冷凍、冷蔵状態を確認し、品質確認欄に〇を記入してから署名して下さい。 品質確認基準 冷凍品(固形) 冷蔵品(氷たけ) パン(破れなし) 野菜果物(傷み異味なし、ある場合は施設で選別廃棄)		
受け取り団体名	食品の種類	品質確認
		確認済
		確認済
		確認済
		確認済
		確認済
		確認済
ボランティアからの連絡等		
入力 済		

デリバリー記録は当日中に事務所までファックスして下さい。
後日、ミーティング等に事務局にご提出ください。
記録内容は、食品取扱い費、デリバリー経費の計算等のデータとなります。

連絡先 事務所 0797-34-8330 事務局携帯 090-8885-2845

ボランティアによる受取先団体への デリバリー(譲渡)記録

(活動状況)

受取先団体		記入日 2017 年 月 日	
平成29年度 フードバンク関西からの提供食品活用についてのアンケート			
施設事務所名		施設の種別	
住所			
電話番号	FAX番号		
代表者氏名	メールアドレス		
担当氏名	担当部署		
利用人数	定員	高齢者での 平均利用人数	スタッフ数
年齢層	オカ ・乳児 () 人・幼児 () 人・小学生 () 人・中学生 () 人・高校生 () 人		
受け取り希望食品とその 頻度 (希望する全てに○)	○パン・惣菜類 (頻度: 1回) ○その他の食品 (月1回) ○米 (月1回) (市販品)		
受け取り方 法(どちらか に○)	○パン・惣菜類 ○その他の食品	○フードバンクで引き取る ○施設への配達を希望	
食品受け取りが困難な日	最寄りの休業日 休業日以降で受け取りが困難な日 受け取りが困難な時期等		
食品の活用について (該当するものをすべて○で囲んでください。その他は具体的に教えてください)			
給食 () 朝 () 昼 () 夕 () おやつ () 夜 () その他 ()			
月1希望食品・冷凍・冷蔵食品について、該当する数に○をつけてください。			
食品の種類	多くても よい	多量に 必要	少な くとも 必要
惣菜類			
レトルト食品			
飲料 (ジュース類)			
飲料 (お茶・水)			
その他			
たれ・ドレッシング類			
菓子類			
冷凍 (肉、魚、野菜)			

ホームレス支援施設		記入日 2017 年 月 日	
平成29年度 フードバンク関西からの提供食品活用についてのアンケート			
団体名		施設の種別	
住所			
電話番号	FAX番号		
代表者氏名	メールアドレス		
担当氏名	担当部署		
設備 (あるも のに○)	・冷蔵庫	・冷凍庫	・調理
炊き出し・弁 当配布頻度	週 回	1日の平均 利用人数	人/回
年齢層	オカ () 40歳 人・40歳～60歳 人・60歳～80歳 人・80歳以上 人		
受け取り希望食品とその 頻度 (希望する全てに○をつける)	○パン・惣菜類 (頻度: 1回) ○その他の食品 (月1回) ○米 (月1回) (市販品)		
受け取り方 法(どちらか に○)	○パン・惣菜類 ○その他の食品	○フードバンクで引き取る ○施設への配達を希望	
食品受け取りが困難な日	最寄りの休業日 休業日以降で受け取りが困難な日 受け取りが困難な時期等		
食品の活用について (該当するものをすべて○で囲んでください。その他は具体的に教えてください)			
給食 () 朝 () 昼 () 夕 () おやつ () 夜 () その他 ()			
月1希望食品・冷凍・冷蔵食品について、該当する数に○をつけてください。			
食品の種類	多くても よい	多量に 必要	少な くとも 必要
惣菜類			
レトルト食品			
飲料 (ジュース類)			
飲料 (お茶・水)			
その他			
たれ・ドレッシング類			
菓子類			
冷凍 (肉、魚、野菜)			

受取先団体向けのアンケート
(年に1度、受け取り人数や食材の要望を確認)
(団体の種類に合わせて用意)

無断転載を禁ず All rights reserved.

© 2017 公益財団法人 流通経済研究所

95

(活動状況)

まだ食べられるのに廃棄される食品
(日本の食品ロス)
年間500万～800万t
＝日本の全国総収量約850万t

家庭から排出される生ごみのうち、
22%が手つかずの食品
＝世帯で年間6万t分の食品を廃棄

その一方で
片親世帯の50%以上が相対的貧困状態
にあり、6人に1人の子どもが、
十分な食料や、教育の機会に恵まれない、
貧困な環境の中で成長しているという
調査結果がでています。

賛助会員になる
活動趣意に賛同し、毎年継続して寄付を
行い支援できます。
・個人会員 年会費2千円以上
・法人/団体会員 年会費一口1万円
(半阿口でも申込み可能)
※会員は税の優遇措置の対象になります。

寄付をする
当法人への運営資金を支えるための寄付を
随時受付けています。
当法人は兵庫県から「認定NPO法人」認定
を受けており、当法人への寄付は税の優遇
措置を受けることができます。

ラベル印字ミス、納品期限切れ、
販売期限切れ、売残った、
食べきれなかった...

まだ美味しく食べられるのに
廃棄される食品がたくさんあります。

その一方で、
様々な理由で
日々の食べ物にも事欠く人たちがいます。

ADORELESS : 0659-0051
再販部(TEL) : 1-15
TEL/FAX : 0794-834-8330
E-mail : foodbank@foodbank.jp
URL : http://foodbankkansai.org

**私たちの活動を
ご支援ください!**

**認定特定非営利活動法人
フードバンク関西**

食品を寄付する
賞味期限が1か月以上経っていて、未開封の
常備品、米など、個人の方からの食品の
寄付も受け付けています。持ち込み又は宅配
をお願いします。

フードドライブで参加する
ご家庭で賞味期限は切れていないが、忘れ
られて保管されたままになっている食品を
持ち寄り、フードバンクに寄付するチャリ
ティイベントです。町内、職場、学校など
で企画しませんか?
詳しくは、メールまたはお電話でお問合せ
ください。

ボランティアで参加する

寄付・賛助会費は、
下記の口座へ振込でお願いします。

▼郵便振替口座
00940-4-221867
▼口座名義
特定非営利活動法人フードバンク関西

▼オンライン寄付
Give One
カネ1つ
gooddo

フードバンク関西

フードバンクは、
この両方を募り、企業や個人の方から、
まだ食べられるのに廃棄される食品を
受け取り、
ボランティアの手で
それらを必要とする人たちに
無償で届けて、食べ物として
活用していただく活動です。

フードバンク関西
団体紹介パンフレット

無断転載を禁ず All rights reserved.

© 2017 公益財団法人 流通経済研究所

96

(活動状況)



フードバンク関西ニュース
2016年10月11日 第35号

フードバンク関西は、食料の困窮を救済する活動を行っています。
活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。

2016年10月11日発行
認定特定非営利活動法人
フードバンク関西
事務所 京都府京都市1-15
TEL/FAX 0797-34-4330
e-mail foodbank@fbcn.or.jp
URL: http://foodbankkansai.org

新年を迎えて

フードバンク関西は、先月8月31日をもって、平成27年度を無事終了することができました。今年度は、活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。

広がれ！「子ども食糧」

「子ども食糧」は、食料の困窮を救済する活動です。活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。



食料の困窮を救済する活動です。活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。

ニュースレター

(活動報告や、受取先団体の紹介を掲載)

品名	数量	単価	金額
米	1000kg	100円	100000円
小麦	500kg	50円	25000円
大豆	200kg	20円	4000円
...	...	...	...

「子ども食糧」は、食料の困窮を救済する活動です。活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。

「子ども食糧」は、食料の困窮を救済する活動です。活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。

「子ども食糧」は、食料の困窮を救済する活動です。活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。活動の中心となるのは、食料の困窮を救済する活動です。

無断転載を禁ず All rights reserved.

© 2017 公益財団法人 流通経済研究所

97

(活動状況)



フードバンク関西

賛助会員募集!!

フードバンク関西は余った食べ物を預かって、支援が必要な団体に届ける活動をしています。

賛助会員として私たちの活動に参加しませんか？

①個人会員 年会費(寄付) 2千円以上
②団体会員 年会費(寄付) 10万円 (一口1万円でも寄付可)

・入金方法 郵便振替
・口座記号/番号 00940-4-221887
・加入者名 特定非営利活動法人フードバンク関西

当法人への寄付は(寄付額-2千円)×40%が税控除の対象となります。

認定特定非営利活動法人 フードバンク関西
〒659-0251 兵庫県芦屋市川崎1-15
TEL/FAX 0797-34-4330 Email: foodbank09@yahoo.co.jp
URL: http://www.foodbankkansai.org Facebook もやっています。

賛助会員募集のパンフレット

この数字、知っていますか？

500万トン～800万トン

本来食べられるのに捨てられている食品がこれだけあります。これは年間の米の生産量に匹敵します。

6人に1人

これは日本で貧困に苦しんでいる子どもの数です。彼らを含む生活困窮者に対する支援が必要です。

フードバンク関西の活動

食品関連企業や個人の方々から「商品にはならないが、おいしく安全に食べられる食品」の提供を受け、支援を必要とする方々に無償で届ける活動をしています。福祉団体へのデリバリーは月延べ100回以上に上り、6000人以上の方々に食べ物を届けています。

私たちの活動を続けるためには皆様からの継続的な寄付が必要です。

ご支援よろしくお願いいたします

無断転載を禁ず All rights reserved.

© 2017 公益財団法人 流通経済研究所

125

98

(7) 特定非営利活動法人フードバンク岡山

■ 活動の概要および、フードバンクの活用促進に向けた活動

活動の概要	所在地	岡山県岡山市北区岡町14番9号岡町ビル202	
	団体の設立年 ／フードバンク活動の開始年	2012年11月／2012年4月	
	取扱品	加工食品(常温) 野菜・果物 菓子 清涼飲料	
	食品取扱量(2015年)	11トン	
活用促進に向けた活動	(1)フードバンクでの食品の品質・衛生管理	①提供食品の受け入れ	フードバンクを受取先団体のネットワークとして組織。提供先企業に直接、担当の受取先団体に取りに行く形式を採用することで、食費抜け入れに求められる管理等の負担を最小限にとどめている。
		②保管	受取先団体が直接引き取るため、倉庫機能を省略。団体間食品の融通を行うための拠点を数か所設置するに留めている。
		③団体への譲渡	提供企業を担当する受取先団体が受け入れ。加えて食品のアンマッチや突発的な食品提供等に対応するため、参加者同士の連絡網(LINE)を構築
	(2)リスクの管理		提供企業とは同意書を作成。独自のデータベースシステムで、食品の受け入れ・譲渡状況を把握している。 食品を引き取る団体には、取り扱いのマニュアルを整備。また、倉庫機能を持たないため、取扱品を常温品に限るといったルールを決めている。
	(3)継続的な食品提供のためのコミュニケーション		フードバンク参加者同士のコミュニケーションツールを充実させている。 ホームページやニュースレターの活用を行っている。
	(4)他のフードバンク団体や行政との連携／人材育成		地域の社会福祉協議会との連携を行っている。 本部機能をスリム化しているため、運営面での負荷が少ない点はメリットである反面、参加団体の数により食品の受け入れ量が制約される点に課題

(活動状況)



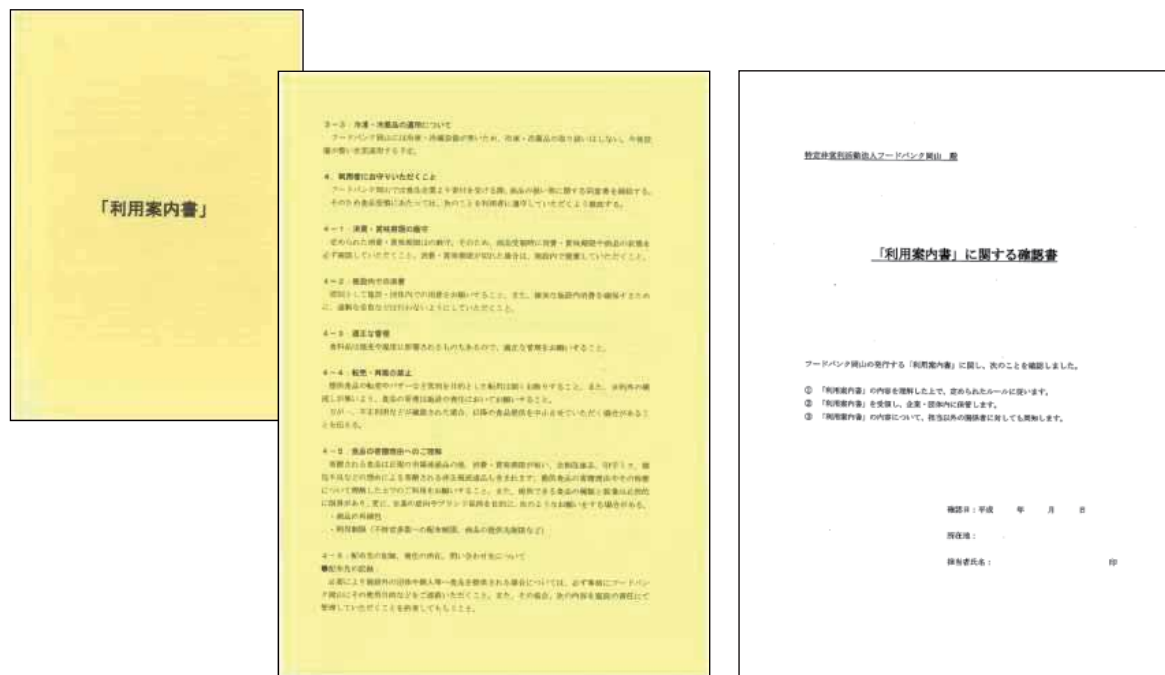
フードバンク岡山本部

(活動状況)



(左)団体紹介パンフレット(A4三つ折りサイズ。活動概要、連絡先等を記載)
(右)ニュースレター(直近の活動内容や支援先団体の紹介等を掲載)

(活動状況)



受取先団体向けの「利用の手引き」
フードバンク活動の概要と、食品取扱い上の遵守事項をまとめている。
受取先団体は案内書の内容を理解した上で「確認書」をフードバンクに提出。

(8) 一般社団法人フードバンク協和

■ 活動の概要および、フードバンクの活用促進に向けた活動

活動の概要	所在地	長崎県佐世保市白岳町151	
	団体の設立年 ／フードバンク活動の開始年	2016年10月／2017年4月	
	取扱品	冷凍。冷蔵。チルド食品	
	食品取扱量(2015年)	—	
活用促進に向けた活動	(1)フードバンクでの食品の品質・衛生管理	①提供食品の受け入れ	母体である業務用食品卸売業のインフラ(倉庫)を集荷拠点として活用卸業務で発生する食品ロスや、取引先企業からお提供品を集める
		②保管	倉庫を活用した保管が可能
		③団体への譲渡	独自のマッチングサイトを構築し、IDが渡された団体がサイト上に掲示された食品を「発注」し、引き取りを行う
	(2)リスクの管理		提供企業、受取先団体とは合意書を作成 受取先団体は、マッチングサイトへのIDを付与する形で譲渡状況を把握 マッチングサイトに掲示する食品マスターの構築(商品写真、調理方法、アレルギー情報など)に力を入れている
	(3)継続的な食品提供のためのコミュニケーション		母体企業の取引先企業への呼びかけを行っている。 将来的には業務用食品卸企業のネットワークを活用した、卸起点でのフードバンク事業モデルを目指している。
	(4)他のフードバンク団体や行政との連携／人材育成		行政とは、受取先団体の紹介などで連携

(活動状況)



フードバンク協和本部
(母体である食品卸(協和商工)内)

(活動状況)



フードバンク専用商品の保管スペース
(倉庫内)



フードバンク専用商品の保管スペース
(常温保管スペース内)

(活動状況)



マッチングサイト

(写真左: 選択画面 写真右: 商品詳細画面)

(詳細画面では、食品の写真、調理方法、アレルギー情報等を掲載)

(活動状況)



マッチングサイトの仕組み ※フードバンク協和ホームページ
(食品の写真、調理、アレルギー等に関する詳細な情報を掲載)

(活動状況)

佐世保市内
「子ども食堂」の参加
(2017/07/07)



佐世保市内の農家さんより戴いたお米を提供。

保育園での
「みんな食堂」に参加
(2017/10/22)



カレー・焼きそば・デザート等の食材を寄贈。

長崎県児童養護施設の
栄養士/調理師の来訪を受ける
(2017/10/17)



フードバンク協和の説明会。
提供用食材を使用した
バイキング方式の試食を実施。

コープフードバンク事例紹介



大切な食べ物を
必要としている人に届けます



品質には問題のないものの、やむなく廃棄されてしまう食品を無償で提供していただき、
支援を必要とする福祉分野の施設・団体（障がい者施設、路上生活者施設など）に
必要な食品を**寄贈**する活動。

1960年に米国で生まれ、日本での草分けは、
2002年東京の「セカンドハーベスト・ジャパン」（母体はキリスト教会）
その後全国各地に活動を行う団体

世界では約 9.6 億人が栄養不足

日本は年間5,800万トンの食料を輸入

日本の年間の食品廃棄物は、約1,953万トン

* 途上国の5,000万人分の年間食料に匹敵

この中には、本来食べられるのに捨てられる

「食品ロス」が約 621万トン

2009年度、世界の食料援助量は570万トン

2

- 日本の食品ロス（年間約500～800万トン）は、世界全体の食料援助量の約2倍。
- 日本がODA援助しているナミビア、リベリア、コンゴ民主共和国3カ国分、セネガル1カ国分の食料の国内仕向量に相当。

規格外品、期限切れ等により
手つかずのまま廃棄される食品



日本の
「食品ロス」
(500～
800万トン)

事業系
うち可食部分と考え
られる量
(300～
400万トン)
規格外品、返品、
売れ残り、食べ
残し

家庭系
うち可食部分と考え
られる量
(200～
400万トン)
食べ残し、過剰除
去、直接廃棄



世界全体の
食料援助量(2011)
約400万トン

ナミビア、リベリア、コン
ゴ民主共和国3カ国分
の国内仕向量(2009)
約600万トン

セネガルの国内仕向量
(2009)
約700万トン

資料：WFP, FAOSTAT "Food balance sheets"(2009)

3

3